

一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会

第38回全国研究大会

開催日

令和6年

11月9日(土) 10日(日)



今年度の全国研究大会は

対面開催

です。

大会テーマ

越境的ネットワークを目指して

オンラインから踏み出して集うASW

《場所》1日目 ウィリング横浜 / 2日目 神奈川産業振興センター

第38回 全国研究大会に寄せて

大会テーマ“越境的ネットワーク”とは、境界線は自覚しながらも、自律的に地域や職域を横断し、多様性の影響を自らも受けつつ、アディクションの回復を含めた包括的なソーシャルワーク活動を進めていくイメージを込めました。

アディクションを自己治療仮説で理解するようになって久しいのですが、では自己治療の対象となる痛みはどこから生じるのでしょうか。それは個人的なものであると同時に社会を生きる中に生じるもの。アディクションで生き延び、そのためにさらに社会の中で生きづらくなっていく、重複した構造を持つ問題です。そういう問題だからこそ支援は領域越境的になるのだと思います。

分科会はどれも縦横に繋がり語り合うプログラムになっています。長く会えずにいたことを勢いに変え、直接顔を合わせて話しましょう。

一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会
第38回全国研究大会 大会長 山本 由紀

【主催】一般社団法人 日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会

【後援】公益社団法人 日本社会福祉士会 / 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会

公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会 / 特定非営利活動法人 日本ソーシャルワーカー協会

プログラム

【1日目】11月9日(土)

【会場】ウィリング横浜 5階研修室(研修室501~503)

【内容】12:30 大会シンポジウム参加受付開始

13:00 開会式

13:15~16:00 大会シンポジウム
(定員170名)

17:45 交流会参加受付開始

18:00~20:00 交流会

【2日目】11月10日(日) 9:00~11:30

【会場】神奈川産業振興センター 13階

【内容】基礎講話:特別会議室A(定員20名)

分科会1:第2会議室(定員90名)

分科会2:第1会議室(定員30名)

分科会3:第3会議室(定員30名)

★2日目は、直接、会場にお越しください。(8:45入室可)

★当日、会場が変更する場合があります。

1日目 11月9日(土) ウィリング横浜 5階研修室

大会シンポジウム

定員 170名

「多様な支援活動からアディクション問題が絡む生きづらさを考える
～リカバリーを目指した越境的ネットワークを目指して」

依存症を核に据えると、予防からリハビリまでのプロセスの中での我々のネットワークは整備されつつあります。でも人の生きづらさを射程にいれて取り組もうとすると、支援のフィールドはもっと広がります。トリートメントギャップの解消だけでなく、オルタナティブな切り口からのネットワークに関心を持ち、私たちは越境していく必要があるのではないのでしょうか。多様な切り口からかかわってきたシンポジストたちの話を通して、越境的活動の方向性を考えます。

《司会》河佐 勉(奈良保護観察所)

《コーディネーター》山本 由紀(国際医療福祉大学)

《シンポジスト》

引土 絵未(日本女子大学)「治療共同体から考える、さまざまな生きづらさからの回復」

山田 真紀子(よりそいネットおおさか)「矯正施設退所者支援活動から考えるトラウマとアディクション」

岡村 真紀(高嶺病院)「最後までよりよい“生きる”を支援する」

風間 暁(ASK認定依存症予防教育アドバイザー・スワローポケット代表理事 保護司他)

「当事者による地域活動から～回復では終わらない活動へ」



全国研究大会交流会 in ヨコハマ

【会場】AQUILA VOLANS(アクイラ・ウォランス)

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町204-1 ダイワロイネットホテル横浜公園 2F

【URL】<https://www.al-tair.co.jp/access.html>

1日目のメインシンポジウムで学んだ後には、まさしく大会テーマの「越境的ネットワークを目指して オンラインから踏み出して集うASW」の如く、交流会に参加して越境的ネットワークを創りませんか?おいしい料理とお酒のご用意もあり、**参加費6,000円**です。せっかくの機会ですので、参加者同士での交流が深まるように、名刺を使ったゲームの『★名刺 de BINGO★』を企画しています。いつもより多めの名刺をご用意いただきご参加をお願いいたします。久しぶりの対面開催の研究大会と交流会です。短い時間ではありますが、皆さんとヨコハマの地で、楽しい時間が過ごせればと企画を練っています。ぜひ多くのご参加をお待ちしております。



基礎講話

「中堅の、中堅による、中堅のための基礎講話」

定員 20 名

～中堅（概ね経験年数10年以下）向けの参加型プログラム～

中堅になると、やりたい仕事も増えるが、やらなければいけない仕事も増える。自分で決められる仕事も増えるが、周囲に期待される仕事も増える。ネットワークも増えるが、柵（しがらみ）も増える。いつからこんなに苦しくなっていたのだろう。同じ中堅はどう対応しているのだろう。中堅仲間の講話から学び、中堅仲間に自らの講話を共有しよう。今回は、「講師のいない、中堅同士の相互作用」を目的としています。この基礎講話が、私たち中堅の柵（さく）を越境していく踏み台になりますように！※中堅向けとしておりますが、新人も、ベテランも、自称中堅も、参加可能です。

《司会》榊原 聡（名古屋市健康福祉局） 山本 哲也（小谷クリニック）

《コーディネーター》浅野（熊谷） 仁実（特別医療法人春陽会 慈恵中央病院）
橋本 久美子（社会福祉法人東京蒼生会 母子生活支援施設ポルテあすなる）
山本 哲也（小谷クリニック）



分科会 1

「支援体制からはみ出す多様なアディクションのニーズに臨む

定員 90 名

～コミュニティソーシャルワークとアディクション～

重層的支援体制整備事業など総合相談の現場で、アディクションも視野にいれつつ活動するコミュニティソーシャルワーカーの実践に学びます。多様な領域でコミュニティを意識して活動している皆さん、専門医療で地域連携を意識している皆さん、どちらからも手をのばし、領域の境界を越えて目指すネットワークの構築に協働できることを考えたいと思います。

《司会・コーディネーター》板倉 康広氏（日本福祉教育専門学校）

基調メッセージ 山本 由紀（国際医療福祉大学）なぜアディクション問題にコミュニティソーシャルワークが必要か

第1部 シンポジウム

《シンポジスト》

俵 はるみ（柏市地域生活支援センター）“依存症”にも対応した地域包括ケアシステムとは？“依存症にやさしい町にしよう”
正木 健（立川市社会福祉協議会）アルコール問題は狭間の問題か？重層的支援体制整備事業の中のアディクション問題
橋本 久美子（母子生活支援施設ポルテあすなる）誰もほっとかない！～アディクションの専門職と地域の新しい連携のあり方

第2部 私の実践語り亭

包摂的な地域社会を意識した支援を自分の活動場所から考えて語り合います。私たちができる境界線を越えた実践のかたちを一緒に探しましょう。

《ファシリテーター》石久保 亮（ハナクリニック）



分科会 2

「あんなことやっちゃった・これからこうしよう

定員 30 名

アディクションに関わる私たちの過去・現在・未来」

アルコール関連問題はすそ野の広い問題群でありながら、実践の特殊性（？）から、ASWの会員数は300名程度と規模の小さい団体です。久しぶりに直接出会う仲間たちとワールドカフェ形式で語り合ってみませんか？ワールドカフェ形式とは、実際のカフェさながらの雰囲気の中で、テーマを通じて日ごろ自分の考えていることを語り、同じテーブルの仲間の話を聞くことで視野を広げ、視座を変えていけるコミュニケーション技法です。

大会のテーマは「越境的ネットワークを目指して」。私たちASWは対話を通じて自分の中にある、ボーダーラインを越えていける。そんな分科会を目指しています。

《講師・メインファシリテーター》岡田 衣津子（日本福祉大学）

《メインファシリテーター・グループファシリテーター》ASW協会 中部北陸支部会員



分科会 3

「意思決定支援と多職種連携

定員 30 名

～対人支援における「連携」の本質を問う～

社会資源の増加に伴い、連携や協働、チームアプローチの重要性が叫ばれていますが、複数のサービス調整に終始する多職種間のやりとりは、連携ではありません。本人の暮らしを知らず、その思いにも接近しない。連携としているものから、本人が不在になっていませんか。孤立した家族を忘れてはいませんか。本人らに関心を寄せ、理解を深め、自らのアイデンティティーを持ってどう支援者間で共有するのかを学び、気づきを分かち合います。

第1部 講演

《講師》川向 雅弘（聖隷クリストファー大学）

「制度化」された「意思決定支援」…それ以前に実践現場で取り組まなければならないこと

第2部 わかちあい ～フィッシュボールに入ろう～



申し込み方法

ピーティックスでお申し込み下さい。

URL <https://peatix.com/event/4113246>

受付開始日時 2024（令和6）年9月27日（金）12時から

受付期限日時 2024（令和6）年11月2日（土）24時まで



注意事項

※大会当日の参加受付はできません。必ず、事前にお申込みください。
※2日目のプログラムに定員がありますので、ご希望に添えないことがあります。その場合、ご了承ください。

参加費（ピーティックスによる事前支払いのみ）

ASW協会会員 5,500円

※2024（令和6）年11月1日までに入会申請された方は会員対応

非会員 7,000円 学生 3,000円 交流会 6,000円

会場情報

1日目【11月9日（土）】

ウィリング横浜

【所在地】〒233-0002

横浜市港南区上大岡西1-6-1
ゆめおおおかオフィスタワー内

【電話】045-847-6666（代表）

【地図】



- 京浜急行／横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車 徒歩3分
- 駐車場のご用意はございませんので、公共交通機関にてお越しください。

2日目【11月10日（日）】

公益財団法人神奈川産業振興センター

[略称：KIP(キップ)]

【所在地】〒231-0015

神奈川県横浜市中区尾上町5-80
神奈川中小企業センタービル内

【電話】045-633-5000（代表）

【地図】



- 地下鉄「関内駅」7番出口より 徒歩2分／JR「関内駅」北口より徒歩5分／JR「桜木町駅」より徒歩7分
- ／みなとみらい線「馬車道駅」3番出口より徒歩7分
- 当ビルに駐輪場はございません。

【大会事務局】

大会事務局メールアドレス(お問い合わせはメールでお願いします)

japanasw@gmail.com

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 高橋 陽介・尾崎 淳
〒239-0841 神奈川県横須賀市野比 5-3-1